

## 単元名 日本近代化

配当時間 26 時間

- 単元の目標 (1) 近代（前半）の日本の大きな流れについて、世界の歴史を背景に、時代の特徴を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる。
- (2) 近代（前半）の日本に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特徴などについて、時期や年代推移、比較、相互の関係や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、思考したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けることができる。
- (3) 近代（前半）の日本に関わる諸事象について、そこでみられる課題を主体的に追究しようとする。

## 標準的な展開例

11220301\_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 近世と近代の資料を比べて変化を読み取ったり、19世紀後半の世界と日本の動きを大観したりして、単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <p>○近世と近代の資料を比べ、気付いたことを発表し合う。</p> <p>★近世から近代までのあいだに、どのようなできごとが起こったのだろう。</p> <p>○地図や年表から、日本の近代化の動きや19世紀後半の日本と世界の様子を確認する。</p> <p>・19世紀後半の世界では、ヨーロッパの植民地が広がっている。また、日本の岩倉使節団が世界を一周していることが分かる。</p> <p>○単元の学習問題をつかむ。</p> <p>●「近代（前半）」の日本には、どのような特色があるのだろう。</p> <p>○欧米諸国のアジア進出についての地図を大観し、学習計画を立てる。</p> <p>2 イギリスの産業革命とその影響について調べる。</p> <p>★産業革命は、経済や社会にどのような影響をあたえたのだろう。</p> <p>○イギリスで始まった産業革命の特徴について調べる。</p> <p>○産業革命の前と後で、経済や社会がどのように変化したかを考えたり、自分の考えをまとめたりする。</p> <p>○小単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <p>■なぜアジアに欧米諸国の植民地が必要だったのだろう。</p> <p>3 王政から議会制への変化について調べる。</p> <p>★どのような過程を経て、議会制が確立したのだろう。</p> <p>○イギリスやフランスの王政について調べる。</p> <p>○イギリスの議会政治について調べる。</p> <p>・ピューリタン革命 ・名誉革命</p> <p>・権利の章典</p> <p>○啓蒙思想について調べる。</p> <p>○国王と議会の関係に注目して、イギリスの政治の変化を調べたり、まとめたりする。</p> <p>4 アメリカの独立とフランス革命について調べる。</p> <p>★アメリカの独立とフランス革命は、社会にどのような影響をあたえたのだろう。</p> <p>○アメリカの独立について調べる。</p> <p>○フランス革命について調べる。</p> <p>○イギリスとは異なり、アメリカやフランスで自由や平等を求める戦いが起きた理由を考える。</p> <p>5 アメリカ、ロシア、ドイツの発展について調べる。</p> <p>★アメリカとロシアはどのように発展したのだろう。</p> <p>○南北戦争とアメリカ合衆国の発展について調べる。</p>	<p>・教P. 158～P. 161</p> <p>・当時の日本の変化をイメージさせたり、欧米諸国のアジア進出を捉えさせたりして、第5編第1章の学習問題を明らかにする。</p> <p>・江戸時代と明治時代の様子を比べ、服装や建物、乗り物などの変化を読み取らせる。</p> <p>・教P. 158～P. 159の資料を用い、まちの様子が大きく変化していたり、城が壊されたりしていることに興味をもたせる。</p> <p>・教P. 160の年表を用い、日本の近代化の動きを時系列で捉えさせる。</p> <p>【評】近代（前半）の日本と世界について、これまでの時代との違いを調べたり、考えたりする活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・単元を通して、政治、社会、文化、外交の面で、これまでの時代との違いを考えるようにさせる。</p> <p>・教P. 160～P. 161の資料を用い、日本が欧米諸国の影響により、近代化への道を歩み始めたことを捉えさせる。</p> <p>・教P. 162～P. 163</p> <p>・産業革命が起こした変化と影響について着目して追究させる。（推移）</p> <p>・教P. 163の資料を用い、蒸気機関の発明や工場制機械工業への変化を通して、産業革命の特徴をつかませる。</p> <p>・産業革命により、資本主義社会が成立したことや、労働問題や社会問題が発生したことに気付かせる。</p> <p>・教P. 160～P. 161の地図を用い、アジアの国々の多くが欧米諸国の植民地となっていることを捉えさせる。</p> <p>・教P. 164～P. 165</p> <p>・王政に対する議会や民衆の動きに着目して追究させる。（推移）</p> <p>・議会制が確立した過程について、王政に対する民衆の動きを踏まえて理解させる。</p> <p>・イギリスでの二つの革命と啓蒙思想の広がりについて振り返り、革命前後の政治の変化を捉えさせる。</p> <p>・教P. 166～P. 167</p> <p>・アメリカの独立とフランス革命に共通している点に着目して追究させる。（比較）</p> <p>・イギリスの植民地としてのアメリカの置かれていた状況に着目するとともに、アメリカ合衆国が成立した過程を理解させる。</p> <p>・市民革命によって、議会制民主主義と近代市民社会が成立していった様子を捉えさせる。</p> <p>・教P. 168～P. 169</p> <p>・アメリカやロシアがアジアに進出する背景に着目して追究させる。（つながり）</p>

- ロシアとドイツの近代化について調べたり，説明したりする。
  - ・ロシアは，農奴解放によって農民に自由を与え，国の近代化をはかった。また，シベリア鉄道を建設して，アジアへの進出を進めた。
- 各国が領土拡大を進めた理由を話し合う。
- 6 ヨーロッパのアジア進出について調べる。
  - ★イギリスを中心とするヨーロッパ諸国が，どのようにしてアジアを侵略したのだろう。
  - イギリスによるインド支配について調べる。
    - ・ムガル帝国                      ・東インド会社
    - ・インド大反乱
  - 清の成立とアヘン戦争について調べる。
    - ・清                                  ・アヘン戦争
    - ・南京条約                      ・太平天国
  - イギリスがインドと中国に見いだした価値について考える。
    - ・インドから綿花を安く輸入し，加工した綿織物を高く売りつける市場としての価値があった。
  - 学習を振り返り，小単元の学習のまとめをする。
- 7 江戸幕府の権威の低下について調べる。
  - ★対外政策や国内のようすの変化は，幕府や藩にどのような影響をあたえたのだろう。
  - 外国船の接近について調べる。
  - 小単元の学習問題をつかみ，学習計画を立てる。
  - 欧米諸国の接近は，日本にどのような影響をあたえたのだろう。
  - 大塩の乱と天保の改革について調べる。
    - ・水野忠邦                      ・株仲間の解散
  - 雄藩の成長について調べたり，幕府の改革との違いを考えたりする。
    - ・薩摩藩                          ・長州藩
- 8 開国前後の日本の様子について調べる。
  - ★幕府が開国へ政策転換したことで，政治や社会にはどのような変化が起こったのだろう。
  - 開国の経緯について調べる。
    - ・ペリー                          ・日米和親条約
  - 日米修好通商条約の締結について調べたり，日米和親条約との違いを考えたりする。
    - ・日米修好通商条約は，アメリカに領事裁判権を認め（治外法権），日本に関税自主権がないなど，不平等であった。
  - 開国後の日本経済の混乱について調べる。
- 9 江戸幕府の滅亡について調べる。
  - ★江戸幕府は，どのようにしてほろびたのだろう。
  - 尊皇攘夷運動について調べる。
    - ・安政の大獄                      ・薩英戦争
    - ・四国連合艦隊の下関砲撃      ・薩長同盟
  - 王政復古と戊辰戦争について調べる。
  - 江戸幕府が滅びた過程をまとめたり，説明したりする。
    - ・尊皇攘夷運動を進めていた薩摩藩と長州藩が協力し合い，倒幕を目指して態勢を整えていったことが江戸幕府

- ・教P. 168の資料を用い，アメリカの領土拡大やリンカーンの演説の様子を捉えさせる。
- ・教P. 169の資料を用い，欧米諸国の新興勢力の進出を確認させる。
- ・ロシアとドイツの近代化が日本にも影響を与えたことを理解させる
- 【評】欧米諸国が国家の勢力を強め近代化した過程を，改革の内容や国家の統一に着目して調べたり，説明したりする活動を通して，「思考・判断・表現」を評価する。
- ・教P. 170～P. 171
- ・インドと中国（清）が侵略されていった過程に着目して追究させる。（推移）
- ・教P. 170の資料を用い，イギリスのインド支配のねらいを理解させる。
- ・インド大反乱につながる原因を，社会の変化や宗教上の違いから捉えさせる。
- ・教P. 171の資料を用い，イギリスによる三角貿易やアヘンについて理解させ，アヘン戦争の原因と背景を考えさせる。
- 【評】イギリスのアジア侵略によって，貿易形態や社会の様子が変化したり，植民地支配に抵抗する人々が現れたりしたことを調べまとめる活動を通して，「知識・技能」を評価する。
- ・教P. 172～P. 173
- ・国内の変化に対する，幕府と諸藩の対応の違いに着目して追究させる。（比較）
- ・教P. 172の資料を用いて，対外関係と国内の様子の変化を捉えさせる。
- ・間宮林蔵ら北方探検を行った人物に触れる。
- ・1830年代にききんが続いたことや大塩平八郎の乱などの改革の背景を押さえる。
- ・欧米諸国が日本に多く接近する中で，新たな動きを見せる蘭学者に対して，幕府が強硬な姿勢をとったことを理解させる。
- ・改革に失敗した幕府と成功した諸藩の対応の違いについて調べさせる。その中で，改革に成功した西南雄藩の影響力が高まったことを捉えさせる。
- ・教P. 174～P. 175
- ・アメリカが要求してきた日米和親条約と，日米修好通商条約の内容の違いに着目して追究させる。（比較）
- ・オランダ，ロシア，イギリス，フランスとも同じような条約が結ばれたことを押さえる。
- 【評】アメリカと結んだ二つの条約の内容の違いを調べまとめる活動を通して，「知識・技能」を評価する。
- ・教P. 175の資料を用い，金銀の交換比率の違いにより，日本の金銀が海外に流出したことで，物価の上昇により庶民の生活が苦しくなったことを捉えさせる。
- ・教P. 176～P. 177
- ・幕府を批判する勢力の主張の変化に着目して追究させる。（推移）
- ・開国後も攘夷論者がいたことや倒幕に向かう流れについて調べさせる。
- ・教P. 176～P. 177の資料を用い，この時期に関係する人物を押さえる。
- ・世直しの動きにも触れる。
- ・大政奉還後，新政府軍と旧幕府軍の間で戊辰戦争が発生し，勝利した新政府軍による新しい政治が始まったことを理解させる。
- 【評】幕府を批判する勢力の主張の変化を，幕府の滅亡と関連付けてまとめたり，説明した

- の滅亡につながった。
- 学習を振り返り、小単元の学習のまとめをする。
- 10 明治維新について調べる。
- ★新しい政府が示した方針や改革には、どのような目的があるのだろう。
- 明治維新について調べたり、江戸時代の幕藩体制との違いを考えたりする。
    - ・ 五箇条の御誓文
    - ・ 五榜の掲示
    - ・ 版籍奉還
    - ・ 廃藩置県
  - 小単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。
  - 明治維新の諸政策によって社会はどのように変化したのだろう。
  - 身分制の廃止について調べる。
    - ・ 解放令
    - ・ 四民平等
- 11 明治政府が推し進めた政策について調べる。
- ★新政府は、なぜ富国強兵の政策を掲げて、近代国家建設を急いだのだろう。
- 殖産興業について調べる。
    - ・ 富国強兵
    - ・ 貨幣制度
    - ・ 官営模範工場
    - ・ 鉄道
  - 国民皆兵と徴兵令について調べる。
  - 地租改正について調べる。
  - 新政府が富国強兵の政策を推し進めた理由を説明する。
- 12 文明開化の展開について調べる。
- ★明治政府は、文明開化によって何を目指したのだろう。
- 国民皆学と学制について調べる。
  - 「国民」をつくり出すことについて調べる。
  - 江戸時代の思想や教育との違いについて考える。
  - 文明開化について調べる。
- 13 近代的な国際関係の形成について調べる。
- ★明治政府は諸外国とどのような関係を結んだのだろう。
- 岩倉使節団の代表者の写真を見て、気付いたことを発表し合う。
  - 岩倉使節団について調べる。
  - 明治政府が清や朝鮮とどのような関係を結んだのか、比較して考えたり、まとめたりする。
    - ・ 清とは治外法権を相互に認め合うなどの対等な地位を定めた日清修好条規を結んだ。
    - ・ 朝鮮とは日本だけに治外法権を認めるなど、日本側にとって有利な日朝修好条規を結んだ。
- 14 領土の画定について調べる。
- ★明治政府は、隣接地域とどのような交渉をして、領土を画策したのだろう。
- 日本とロシアの関係について調べる。
  - 沖縄が日本の領土になる過程について調べる。
  - 蝦夷地（北海道）の開拓について調べる。
  - 明治政府が行った領土の画定の特徴を、清や朝鮮との国際関係の形成と比較して考える。
    - ・ ロシアとは、樺太を譲る代わりにウルップ島以北の千島列島を領有するという樺太・千島交換条約を結んだ。
    - ・ 国際的なきまりにしたがって、小笠原諸島を日本の領土とすることとした。

りする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

- ・ 教P. 180～P. 181
- ・ 江戸時代の幕藩体制との違いに着目して追究させる。（比較）
- ・ 五箇条の御誓文から廃藩置県までの動きを捉えさせた後、これら一連の変革を明治維新ということを押さえる。
- ・ 地方分権的な幕藩体制と比較し、明治新政府の諸政策が天皇を中心とした中央集権国家の建設を目指したことを理解させる。
- ・ 教P. 181の資料を用い、「身分制にかかわる政策」の表や「天地のはかり」の風刺画など複数の資料から身分制の廃止や四民平等の様子を捉えさせる。
- ・ 教P. 182～P. 184
- ・ 殖産興業や徴兵令、地租改正のそれぞれの目的に着目して追究させる。（つながり）
- ・ 富国強兵により近代化を目指したことを押さえる。
- ・ 教P. 183の資料を用い、鉄道や郵便、電信などが全国に広がったことを捉えさせる。
- ・ 徴兵令に反対する農民たちの動きが各地で起こったことを押さえる。
- ・ 教P. 184の資料を用い、地租改正が明治政府にとって重要な政策であったことを理解させる。
- ・ 農民の反対一揆により、2.5%に引き下げられたことを押さえる。
- ・ 列強諸国に対抗し、植民地化を免れようとしたことを確認させる。
- ・ 教P. 186～P. 189
- ・ 江戸時代の思想や教育との違いに着目して追究させる。（比較）
- ・ 国民の負担が大きく、実際には学校に通えない子どもたちも多くいたことを押さえる。
- ・ 福沢諭吉や中江兆民などの思想家に触れ、欧米の近代思想が広まっていったことを理解させる。
- ・ 教P. 188の資料を用い、明治時代のくらしの変化を衣・食・住の視点から捉えさせる。
- ・ 学制や文明開化に見られる生活の近代化について、現在の生活に伝わっているものを挙げながら理解させる。
- ・ 教P. 190～P. 191
- ・ 相手国による関係の違いに着目して追究させる。（比較）
- ・ 教P. 180の資料を用い、新政府の中で中核を担う人物たちであることを確認する。
- ・ 近代国家の制度が整っていなかったことなどを理由に条約改正できなかったことを押さえる。
- ・ 教P. 191の資料を用い、日清修好条規と日朝修好条規の条文からも、それぞれの条約の特徴を捉えさせる。
- 【評】明治政府が清や朝鮮と結んだ条約について調べまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。
- ・ 教P. 192～P. 193
- ・ 各地域との交渉の進め方の違いに着目して追究させる。（比較）
- ・ 清や朝鮮との外交政策の違いを捉えさせる。
- ・ 琉球をめぐる清との対立は日清戦争まで続いたことを押さえる。
- ・ アイヌの人々が、移住などにより従来の生活を続けられなくなったことを押さえる。
- 【評】領土の画策がもつ意味について考えたり自分の考えをまとめたりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

- 学習を振り返り、小単元の学習のまとめをする。
- 15 新政府に対する反対運動や自由民権運動の広がりについて調べる。
  - ★なぜ、士族の反乱や自由民権運動が起こったのだろう。
  - 士族の反乱について調べる。
  - 国会開設の要求について調べる。
  - 西郷隆盛と板垣退助の動きの違いを考える。
  - 小単元の学習問題をつかみ、学習の計画を立てる。
  - 日本の議会政治は、どのように始まったのだろう。
- 16 憲法をめぐる対立について調べる。
  - ★自由民権運動と明治政府はどのように対立していたのだろう。
  - 自由民権運動の内容について調べる。
  - 国会開設の公約について調べる。
  - 政党の結成と運動の激化について調べる。
    - ・自由党
    - ・秩父事件
    - ・立憲改進黨
  - 自由民権運動と政府のそれぞれのねらいを説明する。
- 17 大日本帝国憲法の制定について調べる。
  - ★自由民権運動がおとろえた結果、どのような憲法が制定されたのだろうか。
  - 大日本帝国憲法発布までの出来事を調べる。
    - ・伊藤博文
    - ・枢密院
    - ・内閣制度
  - 大日本帝国憲法の内容、地方制度、教育勅語の内容について調べる。
    - ・帝国議会
    - ・市制、町村制
    - ・府県制、郡制
    - ・忠君愛国
  - 大日本帝国憲法の特徴を、憲法と天皇との関係や、天皇と国民との関係から説明する。
    - ・大日本帝国憲法下では、天皇は主権者であり、統帥権をもつ最高権力者として位置付けられた。
- 18 財閥政府と民党の対立について調べる。
  - ★初期の帝国議会にはどのような課題があったのだろう。
  - 帝国議会のしくみと総選挙について調べる。
    - ・帝国議会が開かれたり、総選挙が行われたりして、近代国家としてのしくみが整えられた。
  - 政府と民党の主張の違いについて調べる。
  - 法律の整備について調べる。
    - ・民法
    - ・商法
  - 学習を振り返り、小単元の学習のまとめをする。
- 19 列強の動向とアジア情勢について調べる。
  - ★なぜ、日本は条約改正をすすめたのだろう。
  - アジアとアフリカの植民地化について調べる。
  - 不平等条約の改正について調べる。

- ・教P. 194～P. 195
- ・西郷隆盛と板垣退助が、政府に対してどのような動きをしたのかに着目して追究させる。（比較）
- ・教P. 194の資料を用い、岩倉使節団側と留守政府側の対立を理解させる。また、征韓論を日本側と朝鮮側の双方の立場で考えさせる。
- ・教P. 195の資料を用い、士族の反乱（西南戦争）が政府軍によって鎮圧されたことを捉えさせる。
- ・初めは士族が中心であった自由民権運動が、なぜ地方の豪商や地主、都市の知識人に広がったのかを考えさせる。
- ・教P. 195の資料を用いて、運動の広がりを捉えさせる。
- ・教P. 196～P. 197
- ・国民と政府が、国会開設をどのように捉えていたのかに着目して追究させる。（比較）
- ・憲法や新たな政治の仕組みが整えられるまでの間、どのような運動が繰り返されたか、また政府がどのような対応をとったのかをまとめさせる。
- ・教P. 196の資料を用い、政府内の対立を捉えさせる。
- ・伊藤博文は、自由民権運動を取り締まっておりながら、なぜ国会を開くことを約束したのかを考えさせる。
- ・教P. 196～P. 197
- ・自由民権運動が目指した憲法と、大日本帝国憲法の違いに着目して追究させる。（比較）
- ・岩倉使節団が征韓論を唱えた西郷隆盛らを退けた理由を想起させ、当時の日本は産業や文化だけでなく、政治制度についても欧米から多く学んでいたことを押さえる。
- ・教P. 199の資料を用い、天皇が主権者であることや憲法で保障された国民の権利を理解させる。また、統帥権の独立にも触れる。
- ・地方制度は政府の強い監督の下に置かれていたことを捉えさせる。
- 【評】近代国家としての形が整えられていった過程を考えたり、説明したりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。
- ・教P. 200～P. 201
- ・政府のねらいと国民の願いに着目して追究させる。（比較）
- ・教P. 201の資料を用い、自由民権運動を進めてきた自由党や立憲改進黨の人々が多数当選したことをつかませる。
- 【評】帝国議会のしくみと総選挙について調べまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。
- ・政府と民党が対立した理由を理解させ、自由民権運動の流れが続いていることに気付かせる。
- ・民法については、戸主権が強く、女性より男性の方が権利が強い内容だったことを押さえる。
- ・教P. 202～P. 203
- ・列強の動きが日本とアジアに与えた影響に着

- 朝鮮をめぐる東アジア情勢について調べる。
  - 日本が条約改正によって何を目指したかについて考えたり、話し合ったりする。
  - 小単元の学習問題をつかみ、学習の計画を立てる。
  - 日清・日露戦争、条約改正は日本にどのような影響をあたえたのだろう。
- 20 朝鮮をめぐる対立について調べる。  
★日清戦争の結果、日本はどのように変わっていったのだろう。
- 日清戦争について調べる。
  - 下関条約と三国干渉について調べる。
  - 日清戦争後の国内の政治の様子について調べる。
  - 日清戦争によって、日本の对外政策や国内の政治はどのように変化したかをまとめたり、説明したりする。
- 21 朝鮮と満州をめぐる日本とロシアの関係を調べる。  
★日露戦争は、なぜ起こり、どのような結果に終わったのだろう。  
○満州をめぐる日本とロシアの対立について調べる。- 日露戦争について調べる。
  - ・韓国に勢力を伸ばそうとしていた日本は、南下を目指すロシアと対立し、交渉がまとまらず開戦にいたった。開戦に踏み切った要因として、日英同盟が大きく影響していた。
- ポーツマス条約と満州経営について調べる。
- 日露戦争が、日本にとってどのような意味をもっていたのかについて話し合う。

22 日本の朝鮮支配について調べる。  
★日露戦争後の東アジアでは、どのような動きがあったのだろう。  
○韓国併合の経緯について調べる。- 韓国併合があった頃の中国について調べる。
  - ・孫文                      ・中華民国
  - ・辛亥革命                ・袁世凱
- 日露戦争後、日本と朝鮮、中国の関係がどのようなものになったかを考えたり、話し合ったりする。
  - ・日露戦争後、日本は東アジアへの支配を強め、韓国に対しては、韓国併合を実施して植民地とした。
- 学習を振り返り、小単元のまとめをする。

23 日本の産業革命について調べる。  
★日清・日露戦争後、日本の社会はどのように変わったのだろう。  
○日本の工業化の進展について調べる。- 労働者と農民の生活について調べる。
- 産業革命による人々の生活の変化について考えたり、まとめたりする。

目して追究させる。(つながり)

- ・教P. 204～P. 205
- ・日清戦争を起こした日本の意図と、ロシアを中心としたヨーロッパ勢力の意図に着目して追究させる。（比較）
- ・朝鮮国内が不安定であったこと、清国が朝鮮に対して影響力があることを押さえ、戦争の経過と下関条約締結までを理解させる。
- ・ロシアがフランスとドイツとともに日本に干渉した理由について考えることで、日本とロシアを中心としたヨーロッパ勢力の意図を考えさせる。
- ・日本が清から得た賠償金の使い道を押さえるとともに、政治勢力の成長と日本初の政党内閣が誕生した経緯を捉えさせる。

- ・教P. 208～P. 209
  - ・日清・日露戦争の結果と、日本の動きに着目して追究させる。（つながり）
  - ・教P. 208の資料を用い、日本の領土拡大を再確認したり、朝鮮民族の同化政策を理解させたりする。
  - ・教P. 209の「先人に学ぶ」を用い、孫文がどのような中国やアジアを目指していたのかを考えさせる。
  - ・袁世凱により、中国は再び専制的な支配に戻され、不安定な政治が続いたことを理解させる。
- 【評】日露戦争後の東アジアの状況について、事象を相互に関連付けて考えたり、表現したりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。
- ・日本は帝国主義諸国の一員となり、アジアを攻めていったことを押さえる。
  - ・教P. 210～P. 211
  - ・産業の発展と社会の変化に着目して追究させる。（推移）
  - ・軽工業から重工業へ発展していった過程や、財閥の成立を押さえる。また、八幡村に官営

- 小単元の学習問題をつかみ、学習の計画を立てる。
- 産業の発展によって社会や文化はどのように変わったの  
だろう。
- 24 資本主義の発展と社会問題について調べる。
- ★資本主義の発展は、社会や文化、教育にどのような影響  
をあたえたのだろう。
- 社会を変えようとする動きについて調べる。
- ・大逆事件                      ・青鞥社
- 新時代の文学と芸術について調べる。
- 教育の普及について調べる。
- 産業革命後の社会や文化の特色を説明する。
- ・産業革命後、くらしが豊かになる中で、労働環境や自然  
環境をめぐる社会問題が表面化し、労働運動や社会主  
義運動などの社会運動が発展した。
- 25 足尾銅山鉍毒事件を通して、経済発展と環境保全のどち  
らを優先すべきかを考える。
- ★経済発展か、環境保全か、足尾銅山鉍毒事件を通して考  
えよう。
- 田中正造が帝国議会や天皇に訴えようとしたことにつ  
いて調べる。
- 政府が田中正造の訴えを全面的に認めなかった理由につ  
いて考える。
- 自分が当時の国民の一人だったら、経済発展と環境保全  
のどちらを優先するかについて、考えをまとめたり、意  
見交換をしたりする。
- ・環境保全を優先すべきだと思う。その理由は、経済発  
展のために銅が重要だということは資料から分かるけれ  
ど、田中正造の主張の通り、国民の生活を守ることの方  
が大切だと思うから。
- 26 学習を振り返り、単元の学習のまとめをする。
- ★単元の学習問題について、自分の考えをまとめよう。
- 学習したことを年表や地図にまとめる。
- 明治政府の「政策」から、近代（前半）の特色をまとめ  
たり、説明したりする。
- 単元の学習問題について話し合ったり、自分の考えをま  
とめたりする。
- ・政治については、明治政府が法政制度や産業などの近  
代化を欧米諸国にならって進めた。
- 戦時中の写真を見て、気付いたことを話し合い、次の単  
元の見通しをもつ。

工場が建設された理由を考えさせる。

- ・教P. 211の資料と本文を用い、労働者の過酷な生活と貧富の差の拡大を捉えさせる。

- ・教P. 212～P. 215
- ・社会の動きと、文化や芸術の動きの共通点に  
着目して追究させる。（つながり）
- ・社会運動の登場を、日本の資本主義の発展と  
結び付けて理解させる。
- ・大逆事件の概要や田中正造の足尾銅山鉍毒被  
害などについても押さえる。
- ・欧米文化を日本の伝統と融合させながら日本  
の近代文化が形成されたことを捉えさせる。
- ・近代文化の形成の背景に、教育の普及がみら  
れたことを理解させる。
- ・人材教育を目的とした高等教育を充実させた  
ことにより、世界的な研究を行う日本人が登  
場したことを押さえる。
- 【評】近代思想、文化、芸術が形成されたこと  
について調べまとめる活動を通して、「知識  
・技能」を評価する。

・教P. 216～P. 217

- ・教P. 216の資料を用い、足尾銅山から流れ出  
た鉍毒によって、田畑が荒れ洪水が起こるな  
ど、鉍毒被害があったことを押さえる。
- ・教P. 217の資料を用い、当時の日本は銅の需  
要が増えており、そうした社会背景の下、政  
府が田中正造の訴えを全面的に認めなかった  
ことに気付かせる。
- 【評】経済発展と環境保全のどちらを優先す  
べきだったかについて、様々な資料を基に考え  
たり、自分の考えを表現したりする活動を通  
して、「思考・判断・表現」を評価する。

・教P. 218～P. 219

- ・教P. 218の年表と地図に学習したことをまと  
め、近代（前半）の大まかな流れを振り返ら  
せる。年表では、日本や欧米諸国、アジアの  
動きを時系列で捉えさせる。
- ・年表中に矢印を書き入れることで、幕末から  
明治初期にかけては日本への偏方向への矢印  
が多く、明治後期には双方向の矢印が増える  
ことに気付かせる。
- 【評】これまでの学習活動を踏まえ、近代（前  
半）の特色について話し合ったり、自分の考  
えをまとめたりする活動を通して、「主体的  
に学習に取り組む態度」を評価する。
- ・「二度の世界大戦と日本」の学習に関心をも  
たせる。

【 備 考 】